

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 25件

(内訳)

No.1	動産の取得について ― 地震体験車 1台 ―	…12件
No.2	民間保育所等整備事業費	…7件
No.3	商店街街路灯電灯料補助金	…3件
No.4	橋梁メンテナンス補助事業費、橋梁整備単独事業費	…3件

今回ご意見をいただいた人数 14人

*一人あたりのご意見件数

4件の議案にご意見をいただいた方： 3人

3件の議案にご意見をいただいた方： 0人

2件の議案にご意見をいただいた方： 2人

1件の議案にご意見をいただいた方： 9人

内訳：	10歳代	1人
	20歳代	1人
	30歳代	0人
	40歳代	0人
	50歳代	0人
	60歳代	2人
	70歳以上	10人
	不明	0人

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.1 動産の取得について — 地震体験車 1台 —		
総務常任委員会	1	<p>地震体験車の予約がなかなか取れなかった過去の経験から、本件には賛成です。ただし、追加してほしいことがあります。</p> <p>地震を体験することで誘発されることと言えば、家族や自身の身を守る行動が主です。残念ながら、地震を体験しても、家具の固定活動への行動にはなかなか結び付きません。家具の未固定による二次被害は、かなり大きなものがあります。</p> <p>体験をしたことで家具の固定活動が誘発されるような仕掛け(動画とかメッセージの自動発信など)や、最近注目されている震度5強で遮断動作をする感震ブレーカーの動作見本も地震体験車に加えてほしいと思います。</p>
	2	<p>地震体験車について、多くの市民に地震の恐ろしさを体験してもらえるようにしてほしい。宝の持ち腐れにならないようにしてほしい。</p>
	3	<p>地震体験車の特徴(=機能)と金額が提示されているが、活用計画と今後の維持管理費が示されていない。6千万円に近い買い物を行えば、今後かなりの金額の維持管理費が必要と考えられる。体験車を購入した初年度はかなりの頻度で活用されたが、次年度以降は年に数回の活用ということにならないよう、しっかりとした活用計画を立案したうえで取得を行っていただきたい。</p> <p>併せて、リニューアル中の防災教育センターに地震体験室を設ける案との比較も行われることが望ましい。</p>
	4	<p>最近、特に地震が各地で頻繁に起きていて、地震体験車での体験が必要だと思います。各自治会の防災訓練に合わせて体験車を派遣して住民に体験してもらってはどうか。自治会へ体験車を派遣する計画を立てたらどうか。または、派遣の希望を受け付ける窓口を設けてはどうか。</p> <p>また、指名競争入札(2社)では少ない。高い買い物なので最低5社以上の指名入札が必要と考えます。</p>
	5	<p>約6千万円も掛けて導入する費用があるのなら、小学校の通学路の整備にその費用を充てたらどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降ると水たまりができて、水はねの危険な箇所がある。 ・最近も通学中に水路に落ちた児童がいる。 ・各自治会等から要望が出ているものを進める。

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.1 動産の取得について — 地震体験車 1台 —	
6	<p>大規模地震に備えて防災意識を高めることは大変重要なことであるが、体験車は既に県にあり、6千万円もかけて取得しなければいけない強い理由が見いだせない。購入してもそれを運用、管理する費用を合わせると億単位の税金を必要とする。</p> <p>むしろ、災害が起こった場合に、例えば名工大発の簡易仮設住宅の導入や、防災避難場所の整備、インフラの準備、各種の防災用具等の拡充に向け、人命救助を最優先した対策費として計画的な備えの準備に投資してはいかがかと思われる。既に行われていると思うが、大規模震災に対して見える形での効果的な対応が認められない。</p>
7	<p>地震・雷・火事・親父と言われるぐらい地震は生命・財産に関わる重大な災害です。また、災害発生確率は低く、大地震となると数百年の間が空きます。従って、そう度々遭遇するわけではありませので、実際の地震の大きさを体験することは極めて稀であると言えます。</p> <p>地震体験車は、地震の大きさ、即ち揺れに対して、実際に近い大きな揺れを体験することができます。また、体験車の中は、日常の家具の設置も施されていて、揺れが起こったときに、とっさに机に下に隠れる訓練もなされます。</p> <p>このように、大地震が発生した時に、即時に身を守る訓練を幼少の時から、学習しておけば、命を守り、命の大切さを学ぶことでできます。こうしたことから、地震体験車の即時導入に賛成です。</p>
8	<p>賛成です。高価な車両ですが、各自治会での防災訓練、防災体験会等での利用が可能となり期待しています。以前も、地区での行事等では 高所作業車や消防団の消防車両、地震体験車を並べてのイベントを計画していただきましたが、「地震体験車はこの時期の土曜日・日曜日は予約で一杯なので、予約すら無理です。」との回答で呼べなかったそうです。若い方々や幼い子供達に体験してもらい、災害時の対応方法や身の安全の処し方等を学ぶ機会を少しでも与えてあげればと思います。</p> <p>取得されたなら、運用方法や管理方法をきちんと確立していただき、効果のある動産取得になるようにお願い致します。</p>
9	<ol style="list-style-type: none"> 1 四日市市の各団体等からの防災訓練等において、地震体験車の利用をしたい場合、現状はどのような手続で実施されるのか。 2 四日市市としては、年間の利用団体等の申込件数があり、利用できなかった件数はどれだけあったのか。 3 地震体験車が利用できる時期や手続き説明員等の対応はどうなっているのか。
10	<p>車両代6千万円の地震体験車は県で持つような代物ではないでしょうか？また、十二分に活用されるものなのではないでしょうか。計画が決まっているのであれば知りたいと思います。また、維持管理費についても知りたいと思います。</p>
11	<p>防災の意識づけのため、素敵な取り組みだと思います。特に、震災を経験していない十代以下の若い世代の体験に活用していただきたいと思います。</p>
12	<p>地震体験車の購入は、いずれ起こるといわれている南海トラフ巨大地震の備えるため、たくさんの人に体験してもらえるので良いと思います。しかし、特徴の一つである外国語での音声案内が可能というところで、四日市市は外国籍の方が多いため何か国語で案内できるのか気になりました。</p>

総務常任委員会

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.2 民間保育所等整備事業費		
教育 民生 常任 委員会	1	<p>待機児童の解消は政府の喫緊の課題であり、四日市市についても同様の状態であれば、次世代を担う子どもの成長のための保育環境を充実すべきと思う。</p> <p>課題としては立地場所で、この西大鐘町は四日市の郊外にあり、公共交通機関がどれだけ充実しているのかである。子どもの成長を見守る保育士の通勤にも影響し、車通勤が出来る人は良いが、できない人や、子どもの送迎に車を使えない人のために公共交通機関の充実が必要である。待機児童解消のために、耐震対策ほか環境整備を行い、保育所、こども園の整備を進めていってほしいと思う。</p>
	2	<p>近年、園児の事故が多い。十分対策して園児の安全を守るように。</p>
	3	<p>年度途中の待機児童の解消を図るとあるが、園長、保育士の資質は大丈夫か。園児に対する虐待、いじめなど園児への対応は万全か。</p> <p>また、園長は経営に関するだけでなく、保育士の園児への接し方、バス運行時の点呼等、事前に何度もロールプレイングして体制をチェックしているか。それに対して行政側のチェック体制はできているか。このほかに、保育士の研修スケジュールは立ててあるか。園児の親が安心できるよう取り組み内容を公開せよ。</p>
	4	<p>認定こども園への移行には大賛成であり、今後もっと増やすべきと思われる。国も教育から子育て支援の強化に力を入れているようであり補助金も得られやすい。子供が減り、少子化が進む中、さまざまな理由で出生率が下がってきているが、このような国をあげての整備事業を強化していくことは、子どもを産みたい人にとって大きな励みにもなる。また、同時に民間での新たな育児事業展開の広がりが期待され、当該関連産業の活性化に繋がる可能性もあるのでは。</p> <p>今後、このような整備事業をもっと広げるべきである。</p>
	5	<p>昨今の少子高齢化で、特に少子化に対する対応が政府を始め声高に叫ばれています。これを受け、テレビ番組等においてもどのような良策があるのか、多々論じられています。</p> <p>このような状況で、幼児の民間保育所・認定こども園の整備がまずは問われるところだと思います。</p> <p>ただ、このような問題は、提案があつて「はい、そうですか」ではなく、関係者の声を十分に聴いた上での考察、分析が必要なことは論を待たないでしょう。そのような調査の上での提案であれば、一般的な知識を持たない、私では論じる術がありません。</p>

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.2 民間保育所等整備事業費	
教育 民生 常任 委員会 常任 委員会	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助額の算定について 補正前は定員60名から90名(+30名)で59,963千円(約1,998千円/人)、追加補正は教育認定分が10名増加して追加額40,882千円(約4,088千円/人)、結果、補正後は定員60名から100名(+40名)で100,835千円(約2,520千円/人)。この増額補正予算の算出根拠が適正なのか、意見募集の資料からは読み取れません。 ・交通渋滞について 保育園等設置による周辺の交通渋滞等、地区住民とのトラブル等が他の都道府県で話題になったことがあります。今回定員60名から100名(約1.7倍)になって朝夕の保護者による送迎車両と、近くの養護施設、介護施設のデイサービスの送迎車両が重なり問題はありませんか。 ・周辺道路の狭隘について 周辺の道路は狭隘箇所が多く車両の対向も難しく歩行者も危険な現状状況で、さらに交通量の増加が見込まれることから、周辺道路の拡幅等の整備予算は別途見込まれていますか。それは、平成6年3月の園整備工事の完成予定時期までに完了しますか。 <p>地区への情報提供について 地域住民への悪影響も予測されることから、市から直接地区自治会や住民等への丁寧な説明を実施し、聴き取った地元の意見や要望を反映していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の窓口について 公立ではなく私立の園舎等の施設整備への補助金かと思いますが、この事業について地域とのトラブルが発生した場合は、民間施設とはいえ市として責任を持ってトラブル解消に向けた指導や対応は実施されますか。その窓口は、縦割りではなく権限のある部門が一元的に対応できますか。
	<p>7</p> <p>待機児童解消のため、良い取り組みだと思えます。</p>

6月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.3 商店街街路灯電灯料補助金	
産業生活常任委員会	1 <p>四日市の商店街は、昭和30年代後半から40年代にかけて高度経済成長とともに大変にぎやかで明るい街並みであった。今や、その勢いはなくっているが、中心街の灯を消すようなことだけはしてはいけないと思われる。</p> <p>昨今の情勢では、設置により、商店街の快適性、利便性等はあまり期待できないが、マンション等が立ち並び、安全性を確保するという意味では重要である。また、中心街を明るく保ち、四日市の商店街のシンボルとして担うのであれば、この程度の補助金は、税金でしかるべきではないかと思われる。</p>
	2 <p>最近のエネルギー価格の高騰は、四日市市民も驚愕するものと思われます。そうした中、商店街における街路灯、アーケード照明の電気代も予測を超えるものであります。一般市民の家庭においては、節電して電灯を消すことも考えられますが、商店街では街路灯を消すこともできません。</p> <p>そのような状況で、コロナが第5類になり、徐々に観光客が増えることが予想されますので、商店街が活性化する矢先に暗い商店街では話になりません。</p> <p>本文の説明にありますように、令和5年度のみとすると記されているように、期間限定で実施することには、私は賛成します。</p>
	3 <p>不要と思います。夏は冷房のため市民が必要とする電力が多くなりますので、そちらにも意識を割いて頂きたいです。むしろ商店街は節電を進めるべきと考えます。</p>

6月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4	橋梁メンテナンス補助事業費、橋梁整備単独事業費
都市・環境常任委員会	1	<p>老朽化が進む橋梁の国庫補助事業費が削減されることは、誠に遺憾である。橋梁の破壊は地震に限らず大災害が起こった時の市民生活に多大な問題を引き起こす。今回は、その緊急性から日永跨線橋および楠町 52 号橋が示されているが、老朽化が進む橋梁はこれら以外にも多い。また、車両の乗り入れがますます多くなるので、その修繕等は、一部の有力者の声のみを聴くことなく、確たる(科学的)根拠の下、公平で、厳格な優先順位をつけ、橋梁整備単独事業費の増額補正等、による拡充を図るべきと考える。</p>
	2	<p>橋梁は社会資本の一環であり、広く一般市民の便宜に供している。古くなった橋梁は、適切な修復・修繕を行うことによって、使用期間を延長することができる。まして、昨今は南海トラフ地震の発生が危惧され、早急の地震対策が望まれる。</p> <p>公共事業で行われる橋梁等は、毎日市民が利用するものであり、破損、破壊が起これば、取り返しのつかない人命に関わる事故となる。一日も早い、修繕工事が望まれる。</p>
	3	<p>利用者の安心、安全性、万が一の時のための避難経路のためにも、補修は行うべきと考えます。</p>